



視力を失い、唯生きる為に
三味 と共に彷徨った
高橋竹山と
苦難の世を渡った
若もなき此東北の
人々の魂が
三味の色とともに蘇る。

【スリット・オブ・ミュージック】

大西功一監督 作

「津軽のカマリ」上映会 &DJライブ&トークショー

監督 大西功一

× 朗読 大城美佐子

3月1日(日) 会場 BOOK CAFE & HALL ゆかるひ
〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地 3-4-10 久茂地 YAKA ビル 3F Tel: 098-860-3270

料金：前売り 1500 円 / 当日 1800 円 (厚島ガーデンにて販売) 問い合わせ：080-5446-6143 (ナカソネ)

ちょうど10年前、宮古島の知られざる神歌の世界を神に仕える司の想いと共に記録した

「スケッチ・オブ・ミヤーク」の大西功一監督。彼が次に挑んだのが、

誰もが知る盲目の津軽三味線奏者 高橋竹山と北東北の人々でした。

この度、約1年ぶりに大西監督が来沖しての「津軽のカマリ」上映会を行います。

それも、生前の竹山を知る沖縄民謡界の重鎮 大城美佐子さんとのトークショー付きで！

さらに、上映前の1時間はDJ Nu-dohによるDJライブでイケイケな竹山を

存分に感じていただけたらと思っています。

また、浮島ガーデンによるたぶん竹山も愛したであろう青森おやつ「なべっこだんご」の出店もあります。

竹山を多面的に感じる面白いイベントになること間違いなしです！

ぜひ、このチャンスにもう一度、観にいらしてください～！

<タイムテーブル>

14:00 ~ 開場DJライブ&浮島ガーデンのおやつ販売

15:00 ~ 上映会

16:45 ~ トークショー 唄者：大城美佐子 × 聞き手：大西功一監督

「生前の高橋竹山を知る大城美佐子先生、竹山について語る」

17:15 ~ 物販&サイン会

「高橋竹山を思う会」

大城美佐子さんの店「鳥悪い」にて19時から「高橋竹山を思う会」があります。30分ではしゃべり足りないであろう大西監督と美佐子先生の竹山トークをたっぷり聞けるチャンスです。

大城美佐子

言わずと知れた沖縄民謡界の重鎮。



DJ Nu-doh

(Churashima Navigator)



Churashima Navigatorで様々なLIVEステージに出演。DJは琉球民謡～Jazz、テクノまで雑食系。与那原町BAR MOHICAN店主。深みのある島人(シマンチュ)になるべく日々精進中。

「津軽のカマリ」あらすじ

「それを聴けば津軽の匂い(カマリ)が湧き出るようなそんな音を出したいものだ」視力を失い、唯生きる為に三味線と共に彷徨った高橋竹山と苦難の世を渡った名もなき北東北の人々の魂が三弦の音色とともに蘇る。津軽三味線の巨星、故初代 高橋竹山。明治に生まれ、幼少期に煩った麻痺が元でおおよその視力を失う。北東北の過酷な環境の中、庶民の暮らしは貧しく、福祉もまだ整わない時代、唯生きていく為に三味線を習い、門付けをしながら乞食同然に彷徨った。生前、竹山は「津軽の匂いがわかせるような音をだしたい」と語っている。彼を産み、視力を奪い、蔑み、また命の綱となった三味線を授けた恨めしくも愛おしいこの土地に初代竹山は終生拠点を置き、津軽の音を探し続けた。映画は、残された映像や音声、生身の竹山を知る人々の言葉を拾いながら、彼の人生や心模様を呼び覚ましていく。そして、この地に今も残る風習や文化、人々の暮らしにレンズを向け、竹山の音に潜むであろう津軽の原風景を浮き彫りにしていく。この映画のもう一人の主要人物、二代目 高橋竹山。師、初代竹山に見込まれ、長く付従い、1997年に襲名をした女性三味線演奏家である。しかし、津軽では彼女を認め、竹山と呼ぶ人は少ない。襲名以来、青森市での単独コンサートは一度も開かれてこなかった。映画の中で、二代目はかつて師とともに訪れ、戦争に命を奪われた多くの人々のことを知るに至った沖縄や、師が旅芸人時代に大津波にあり、命の危険にさらされた三陸野田村などを巡り、初代竹山を再確認していく。そして、かつて内弟子時代を過ごした津軽に久しぶりに帰り、師の墓前に花を手向ける。再び師と向き合った二代目は、襲名後、初となる青森市内での単独コンサートに臨み、目の覚めるような素晴らしい三味線の音を響かせるのだ。